



議会だより

かつらぎ

Gikai 2014.8 (平成26年)

発行/和歌山県かつらぎ町議会
編集/議会広報編集特別委員会

62号



国体に向けて (ゴルフ競技少年男子)

主な内容

国保税は負担増 2ページ

一般質問 おもいを届ける60分 6ページ

新採研修で議会を傍聴 14ページ



町の努力にもかかわらず 国保税は負担増

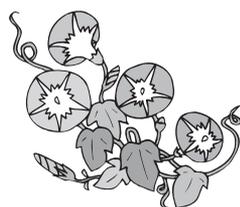
6月会議

6月会議は6月2日に開会し、13日に終了しました。

議事内容は

・専決処分	6件
・人事	4件
・予算	9件
・補正	5件
・条約	5件
・契情	3件
・陳書	2件
・意見	2件
・報告	5件
・諸報	5件
・一般質問	6人

詳細は紙面に掲載しています。



6月会議

議決案件(人事除く) 21件中20件について
全員賛成で可決及び
採択。1件については
賛成多数で可決。

条例

賦課税率の改正

国民健康保険税の賦課税率が改正されました。

【主な質疑】

問 今年度は一般会計から30000万円繰り

入れたにもかかわらず、全体として負担増になった理由を教えてください。

由を教えてください。

税務課長

軽減制度の拡充で2割軽減が5割軽減になった方、軽減になった方が2割軽減になった方、基礎分、支援分、介護分のいずれも5割軽減になった方は、減額となります。軽減制度拡充の対象にならなかった場合、国保税は増加します。国保会計の中で前期高齢者納付金が9100万円の減収となったので、3000万円の会計に繰り入れても、国保税を抑制できませんでした。結局一人当たりの金額でいえば、基礎分2000円、支援分1200円、介護分13000円のアップとなりました。

軽自動車税の増税

(採決の状況は5ページ)

問

平成27年度から実施される軽自動車税の増税は、自動車取得税の廃止の穴埋めとして行われるものです。スズキ自動車の会長は「弱いものいじめだ」と言いましたが、そうではないのですか。

税務課長

平成26年度の課税実績で計算すると、軽自動車税で885万円、14年経過した軽自動車への重課180万5000円の負担増となります。弱いものいじめかどうかはお答えしにくいものです。

斎場使用料の一部を改正

かつらぎ斎場使用料の一部改正を行いました。式場を密葬などで一時使用する際の使用料が設定されました。

【主な質疑】

問 式場に密葬の場合1万円というのが新

たに加わりました。なぜ1万円の使用料を取るのですか。

生活環境課長

今までと同じように炉前のホールのみを使用する場合は、火葬代のみ2万円(町民の場合)です。今回の改正で式場における葬儀に対応しました。密葬と家族葬というのは、通夜式を行わない家族・親族・親友などの範囲の葬儀であり、式場を使用する場合は、1万円(町外の方は2万円)負担いただくこととなります。葬祭用の使用料規定のみだと使用料が高いので、このような規定を設けました。なお、生活保護受給者などは免除になります。

御所簡易水道の給水人口増

御所簡易水道に星川の一部が含まれ、給水区域の拡大に伴い給水人口が17人増加するので条例の一部が改正されました。

【主な質疑】

問 5軒に1軒が簡易水道に加入しています。

厚生労働省は、上水道と簡易水道の一元管理を求めているのではないですか。

上下水道課長 一元管理への移行が求められています。一元化するためには、簡易水道と上水道の加入分担金等の統一が課題になります。移行する時期は決まっています。

補正予算

一般会計については、職員の異動に伴う人件費の組み替え及び補助金の内示などにより、1億1774万8000円の増額となりました。

【主な質疑】

ふるさと納税の活用

問 ふるさと納税が増加しており現在累計で2500万円の基金となっ

ていますが、この基金で専任の職員を雇用すれば、もっと町の活性化につながるのではないですか。

町長 検討したい。

受診率の向上を

問 働く世代の女性支援がん検診の内容は。

やすらぎ対策課長 子宮がん検診

は20〜40歳、乳がん検診は40〜60歳までの人を対象にします。今までは、5歳刻みでがん検診の案内をしていましたが、受診率が低いので、今年度からは事業内容が変更され、がん検診を受けていない人で対象になっている人全員に案内を出すようになりました。今回は、制度の変更に伴う予算の組み替えです。

観光案内板の改善

問 観光案内板など、町内の看板は形などが統一されていません。統一するほうが見やすいと思います。また、実態に合わない看板もあります。修正するとともに、今後設置する看板から統一してはどうですか。

町長 調査して改善するとともに統一したものにします。

問 宝来山駐車場はかつらぎ町西部地区への観光の拠点となる所です。

ハイキングコースや観光名所などの観光案内板を設置してはどうですか。

産業観光課長 案内板について内容を精査して取り付けていきたいと思えます。

消防納庫の移転

問 笠田中の消防納庫が県道改修により移転します。移転場所と工事期間中の消防納庫はどうしますか。

総務課長 新しい消防納庫の建築用地は自治区と検討しています。仮の納庫は、自治区が確保します。

食堂の閉鎖

問 本年3月会議で、総合文化会館2階の食堂の使用料について月額5万円の定額を収入の10%に変更する条例改正が行われましたが、1カ月後の4月末に閉店になりました。なぜこのような事態になった

補正予算

会計名		補正額	補正後の予算総額
一般会計		1億1774万8000円	104億3574万8000円
特別会計	国民健康保険事業	▲22万8000円	26億7776万4000円
	国民健康保険天野診療所事業	3万2000円	982万3000円
	後期高齢者医療事業	▲621万2000円	5億2273万8000円
	介護保険事業	333万0000円	24億9075万0000円
	下水道事業	▲6327万7000円	5億3117万6000円
	花園地域交流推進施設運営事業	8万4000円	3億6562万2000円
水道事業会計	収益的・資本的収入	23万5000円	5億9583万6000円
	収益的・資本的支出	477万9000円	6億6682万3000円

のか、担当課の管理責任が問われているのではないですか。

生涯学習課長

昨年11月頃 食堂の経営者から経営が苦しいので使用料の値下げの相談があり、その話し合いの上で今回の措置を提案しました。その際は、閉店の話はありませんでした。

問

本来なら町が直接管理すべきなのに、商工会まかせになっていたのではないですか。

生涯学習課長

日常的な管理ができていなかったことは、認めます。今後の教訓にしたいと思います。

雪害への補助

問

雪害で壊れたハウスについて、973万円が組まれています。

産業観光課長

被害は0.18ヘクタール、被害金額は1460万円

報告

土地開発公社の最終報告

かつらぎ町土地開発公社の清算終了報告が行われました。

契約

京奈和PA物産販売所工事

- ・契約者 (株)平岡広建設 (星山)
- ・契約金額 1億584万円

【主な質疑】

問 パーキングエリアのトイレの数が少なすぎるので、観光バスが来てもトイレ休憩ができませんと思います。トイレの個数を増やすべきだと思います。

状況を見て、国へ要望していきたいと思っています。

佐野下水道工事

- ・契約者 (株)松村組大阪本店 (大阪市北区天満)
- ・契約金額 1億679万400円

【主な質疑】

問 今年度は、愛光園のグループホームの所まで污水管渠布設工事が行われます。来年度、東側の住宅まで工事を進めるのか、北側の住宅まで工事を進めるのか、選択が問われると思います。どういう判断になるでしょうか。

上下水道課長

関係住民とよく協議をして、判断したいと思っています。

妙寺下水道工事

- ・契約者 (株)淺川組 (和歌山市小松原通)
- ・契約金額 6282万6840円



人事

農業委員会委員を推薦

任期満了に伴い、議会推薦による農業委員が推薦されました。(任期3年)

もりた 悦央氏(再)
(68歳・三谷)



たにざわ かずお 一男氏(新)
(70歳・東浜田)



やまだ よしひこ 善彦氏(新)
(67歳・笠田中)



うへだ はるひさ 晴久氏(再)
(64歳・東谷)



陳情

陳情2件を採択しました。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情」が提出され、厚生文教常任委員会に付託し、審査した結果が委員長より報告されました。

その後、採決を諮ったところ、採択となりました。

◇陳情者 前田幸彦

社会保障制度改革を

「社会保障制度改革に関する陳情書」が提出され、厚生文教常任委員会に付託し、審査した結果が委員長より報告されました。

その後、採決を諮ったところ、採択となりました。

◇陳情者 和歌山県退職公務員連盟

伊都支部長 吉村正樹 他
702人

賛否が分かれた条例は5件中1件

件名	議員名 結果	議員名											
		堀龍雄	赤坂岩男	宮井健次	東芝弘明	藤井昭雄	大原清明	浦中隆男	新堀行雄	氏岡誠	西村善一	福岡久三子	雑賀増己
かつらぎ町税条例	9対2で可決	—	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 堀 龍雄議員は、議長のため採決には加わらない。

○は賛成 ●は反対

国に意見書を提出

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める

国は、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、新たな具体的措置を講じておらず、肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上亡くなっています。医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題です。よって、次の点について実現するよう要望する意見書を関係省庁に対し、提出しました。

1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

社会保障制度改革を求める

退職公務員の生活は、平成27年度からの厚生年金制度への統合に伴うリスクや物価上昇・消費税増税などにより年々追い詰められ、現職公務員の場合は、職務の多忙化、給与・退職金の大幅な減額など、勤務条件が極めて厳しくなっています。よって、関係省庁に対し、次の5項目を求める意見書を提出しました。

1. 公務員の処遇を検討するに当たっては、その職務の特殊性、有為な人材の確保について十分配慮すること。
2. 持続可能な社会保障制度は、経済の成長と現役世代の安定した雇用を通して実現されるものであり、これらの諸施策を積極的に推進すること。
3. 60歳前半の在職老齢年金の支給停止基準を緩和すること。
4. 雇用と年金の接続の重要性に留意し、65歳定年制を実現すること。
5. 社会保障改革（特に年金・医療・介護）に当たっては、年金生活者の負担が過重にならないよう配慮すること。

議会改革について学ぶ 《町村議会議長会紀北ブロック研修会》

平成26年5月23日、研修会が高野町中央公民館において開催され、議員全員が出席しました。

○研修内容

演題：「地方政治と議会の改革について」

講師：全国都道府県議会議長会

議会制度アドバイザー 野村 稔 氏



一般質問 おもいを届ける60分



答弁する井本町長

- ・一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ・内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。

1 赤阪 岩男

- 本町の中山間地及び農林家等の現状と課題について

2 宮井 健次

- 本町の就学援助制度について
- コミュニティバス運行への提案
- 妙寺団地内に老人福祉施設の併設を
- 町道妙寺56号線の延長と道路拡幅について

4 福岡 久二子

- 内水氾濫対策の経過について
- 収集ボランティアへの情報発信を

5 東芝 弘明

- かつらぎ町の学童保育利用料について
- 介護保険の改正について
- 花園地域の患者輸送の改善について

3 新堀 行雄

- コミュニティバスについて

6 浦中 隆男

- 公の施設の指定管理について

中山間地や農林家の現状と課題について

町長 大変なことと理解しています



赤坂岩男議員

問 国連は飢餓の根絶と天然資源の保全、農家の有する公共性に対する再認識が必要と報告し、FAO(国連食糧農業機関)の事務局長は「日本農業の中山間を分析して伝統的な家族農林家はそれに関わる責務が大であり、アベノミクスはそれを放棄している」と報告しています。

町長 世界、日本どの地域でも多くの農業を家族が支えているのが現状です。本町の場合、農業

から離れ他産業へ就労し、担い手不足となっています。

問 農業を続けるには農業外からの収入による依存が大きい。給与所得を持ち込むことで成立する農業経営や現状が大きな問題、課題だと思いますが。

町長 専業で農業を営む人が大部分になる必要があると思っています。

問 今年は国際農業年です。農林の有する自然的、文化的、社会的さまざまな価値への再評価といわれていますが、これに対しては。また、国による改革論議はJAや農地改革、農地集積、競争力、企業参入、農業委員会などです。

農地集積などはもっと慎重な対応が必要だと思いますが。

町長 農政改革が論議されていきますが、先が見えないとの感想を持っています。

問 中山間地域の公共性については。また、それに対する行政支援については。

町長 国土保全、集落維持は農林家を中心に維持されてきたと思っています。しかし現在生計が成り立たないことが起こっています。条件の不利な地域の維持のために、どれだけの行政支援ができるのかにかかっていると思っています。



問 5年間の制約を受け中山間地域等直接支払い制度における高齢化の問題は。

町長 5年間農業を続けられるかわからず、協定に参加しない人も出てきて、新たな大きな問題を抱えています。

問 支援体制の制度化が課題では。

町長 45歳未満の農業者が1000人弱で1200〜1500haを耕作するのは到底無理です。支援できないかと検討しています。

問 林業も厳しい状況です。自伐林家の育成、融合品種の検討試験などの取り組みや自伐林家への直接支援や環境の問題からも県と協力し合える運動を提案します。

町長 森林を所有する人を支援する財源があれば、そのような取り組みを県と歩調を合わせてと思っています。



まとめ

中山間地は大変な状況にあり応援いただかなければ崩壊します。中山間地に公共性があると思っています。一生懸命耕したり、木を切って手入れをしても、所得はほとんど上がることなく、外へ賃金を稼ぎに出たお金を持ち込んで家族がそれで生活をしている現状は大変おかしな話です。公共性が存在する中山間地は、当然、政府や地方自治体によって保護されなければならず大きな問題、課題であり、これを取り上げなければ、中山間地問題の課題は解決しません。

町独自の就学援助の充実を

教育長 できるだけ保護者に

しわ寄せがいかないように



宮井健次議員

問 就学援助は、学校教育法第19条に基づいて家計の苦しい世帯の子ども達に支給する制度で、全国で6人に1人が援助を受けています。政府は、昨年8月から生活保護基準を引き下げ、今後3年かけて保護費の支給基準を6・5%削減する計画です。本町の独自の支給基準は、国基準と比較してどうなっていますか。

教育総務課長

おおむね国基準と同じです。

コミュニティバス路線見直し かつらぎ霊園行きコースを

問 今回の、公共交通空白地域の解消と交通手段を持たない交通弱者のための交通手段としての位置づけをさらに強化するために見直したといいますが、その根拠は。

総務課長 公共交通機関との連携を図り乗り継ぎをしやすくし、コースに合ったダイヤ、便数の見直し、河南コースは公共交通がない地域と駅との連携を図っていくなどの強化を図りました。

教育長 できるだけ町独自で、保護者にしわ寄せがいかないようにすべきだと思っています。

問 就学援助の申請に、なぜ民生児童委員の所見が必要なのですか。

教育総務課長 家庭の状況上での最終的な認定という形を取りたいと考えています。

まとめ すでに9年前に、法律改正で民生児童委員の所見の必要性は削除されています。直接教育委員会が判断すべきだと思っています。

総務課長 どの程度の利用者があるか、臨時運行するとなると路線バスの認可が必要、経費面などさらなる検討が必要であり今後の課題と考えています。

問 今後の課題といえば、10年20年先も今後の課題です。姉妹都市の守口

市は霊園行きのお盆の臨時バスを運行しており、同市の広報でも紹介されています。足腰が弱くなり、一人暮らしのお年寄りが増える中で、町として、せめてお身内の墓参りをしていたたく、そういう心がないのでしょうか。

町長 ご指摘のことについて、守口市の事例など研究したい。

※ その他に、妙寺団地を建て替える際の余剰地を活用した老人福祉施設の併設について、また、短野自治区から要望されている町道妙寺56号線の延長と道路の拡幅について質問しました。



かつらぎ霊園

今後の見直しは

総務課長 毎年、見直し・検討を行う



新堀行雄 議員

問 6月にコミュニティバスの再編が行われました。見直しの内容はどうなっていますか。

総務課長 河北・河南コースを分割して、

河北コースは廃止しました。新たにJR笠田駅から役場を経由して紀北分院まで運行する河北通院コースを新設しました。河南コースはJR妙寺駅を経由することにより、洪田、三谷地域の妙寺方面への利便性を向上させました。四郷コースはスクールバスの混乗を実施したため3便減便しました。

天野コースについては、天野地域への観光客を考慮したダイヤの編成を行いました。

問 再編はいつ、どの会議で決定したのですか。

総務課長 平成26年3月26日の地域公共交通

通会議で最終の決定をし、6月1日の再編となりました。

問 笠田西部自治区より運行の継続の要望書が提出されていると思いますが、要望書には「少子高齢化が進み子どもとの同居もなく、高齢により車の運転もできなくなった人が増えてきている現状にある。公共交通を利用するとしても、JRの駅、和歌山バスの停留所は遠く距離がある。そ

ういったことから存続を希望していたきたい」と書かれています。

コミュニティバス運営委員会に提出された資料には、高齢者は増加傾向にある。コミュニティバスが一人世帯などの買い物、通院にかかわる重要な移動手段となるなど書かれてあります。そのように書いておきながらなぜ廃止したのか理解できません。廃止した理由はなんですか。

町長 河北コースについては、乗車人数が少ないこと。JR、あるいは和歌山バスがあるということもあります。

問 6月から和歌山バスの便数が9便から4便に減っています。知っていますか。

町長 コミュニティバスの認可変更を申請した後に和歌山バスから申し出がありました。

問 地域公共交通会議の委員を和歌山バス那

賀(株)の社長がしているのですから、会議の場で便数が減るということを報告すべきです。廃止の理由に和歌山バスがあるとしても、ですが、無いのと同じです。今後の見直しについてどのように考えていますか。

総務課長 毎年見直し、検討を行うことになっています。

問 地域公共交通会議で代替案について話が出なかったのですか。

総務課長 今回の見直しは、スクールバスの混乗や、他の公共交通との連携など、総合的に検討したものです。

問 河北コースはスクールバスもなく和歌山バスは便数が減ってしまいました。代替案を考えるのが行政の役割ではないのですか。

町長 経費も考慮しながら、町民の利便を図るように考えていきます。

まとめ 高齢者、交通弱者、買物難民、そのような人たちの交通の便を確保するのも行政の責任だと思えます。至急対応策を考えてください。



コミュニティバス

内水氾濫の新たな対策とは

町長 藤谷川堤防のかさ上げの調査を進めます



福岡久二子議員

問 藤谷川の内水氾濫問題については、地元からの請願が議会で採択されたことを受け、町は住民と対話しながら解決へ努力を重ねてきました。住民から県への要望も行い、昨年で3回目となりました。常設排水機場整備を目指すとする町長の姿勢への期待の一方、その実現までの対策として、より機動的な排水ポンプ車が要望されているところですが、現在の状況について説明を。

町長 排水機場については、浸水50戸以上

の実績という条件があり、採択が難しいというのが最終状況です。また、毎秒3トンといわれていた流量が実は最大30トンあるのではないかとということ、人工的な排水は無理であるとの判断をしつつあります。

問 このほど県から新たに示された対策というのとは。

建設課長 藤谷川の調査に基づいて計画されたもので、堤防のかさ上げをするものです。今年度に入ってから地元代表の方々への説明を行いました。

問 かさ上げということであれば、用地買収も必要ですし、これで安心というぐらいの高さとなると、都市計画道路もかなり

勾配をつける結果となる、大掛かりなものになるのではないですか。

建設課長 その内容については県の今年度の実施設計によりです。それに合わせて、支川への排水ポンプなど、町としても取り組んでいく必要があります。

問 住民の方々の中には、この計画にもろ手を挙げて賛成という人と、これまでと同じポンプアップの問題が残るのではないかと心配する人があります。今後の住民への説明はどのように。

建設課長 やはりこれまでの地元の要望がある中で、県の説明という形になったわけで、今後も住民によくわかっていただく努力をしたい。

問 朗報で、ようやく動き始めたというふうで納得できる方向で進んでいくことを願っています。内水氾濫問題を抱えた他の

河川にも波及することであり、今後の方向性について示していただきたい。

町長 本川の紀の川の水位を下げるという

収集ボランティアへの情報発信を

問 社会福祉協議会で書き損じハガキや古切手を収集する活動をしてい

ますが、ペットボトルのキャップや缶のプルタブを扱っていない理由は。

住民福祉課長 ハガキや古切手は手数料や送料が要らず、直接換金できますが、その他の物は経費や手間がかかりすぎるといふ事情があります。

問 社協で扱っていない収集物の持って行き場所を知りたい人のためにホームページや広報で情報を伝える仕組みは作れませんか。取り扱っている個人や企業、団体の名前を、住民にお知らせしてもいいですよという了解を得て載せ

ことと、支川の堤防のかさ上げによる方法ということ、調査を進めていきたい。

るのです。

住民福祉課長 それについては難しいと考えます。

問 法的に問題があるかどうか調べてもらえませんか。取り扱っている人と収集している人の橋渡し役として、行政ができることではありますか。

町長 そういった形で情報提供するのは問題ないと思います。



学童保育の利用料値下げを

町長 高いという気がしています



東芝弘明議員

問 保育に欠ける子どもたちが十分学童保育に入っていないません。利用料が高いのではないですか。

教育長 利用料の問題もあるし、子どもの希望も、親の考えもあると思っています。

問 かつらぎ町は、基礎的な学童保育利用料で県下一高く1万3000円です。非常に高いのではないですか。

教育長 高いと思います。

介護の現行サービスを

を低下させないで

問 要支援1、2の方のデイサービスとホームヘルプサービスが介護保険から外されますが、福祉事業である総合事業の中でサービスを継続できません。現行サービスを維持していただきたい。

町長 努力はしますが、財源を見てということになります。

問 地域包括ケアシステム構築のために機構改革を行うべきでは。

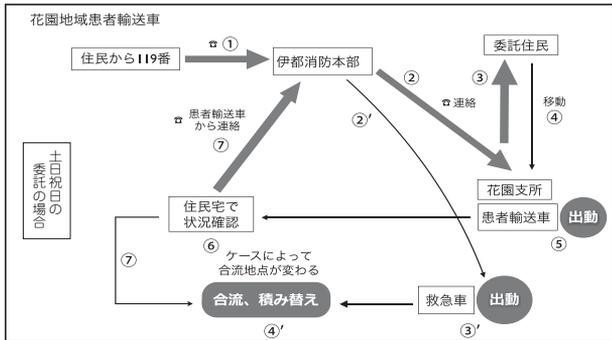
町長 職員数が少ないので市とは違いますが、事業に対応できるように検討していきたいと思っています。



花園地域に救急救命士を

問 現在全国の35自治体には常備消防がありません。花園村もこの一つでした。合併して9年経っているのに、患者輸送車のシステムがあるために119番しても花園地域には基本的に救急車が入りません。これを問題にしています。救急救命士に何ができるのか、いつできたのか、ご存知ですか。

町長 詳細は承知していません。



問 救急救命士は、医師の指示の下で特定行為ができる場所まで仕事内容を広げています。花園の患者輸送車の歴史の中には、子どもの死亡事例さえあります。素人が患者輸送をしている限り、命を救えない事例は必ず生じます。救急救命士を現場に派遣する考えはないですか。この私の提案と現行制度を比較し、私の提案の方にメリットがある場合、改める考えはありませんか。

町長 メリットが立証されれば改めますが、伊都消防本部とは随分協議してきたので、やむを得ない措置だと思っています。

まとめ 介護と医療、救急車などの面で花園地域は取り残され、合併前と事態は変わっていません。このことが問われています。

ふれあい会館の指定管理について

町長 一日も早く管理者を決定し再開したい



浦中隆男議員

問 指定管理と業務委託の違い、また指定管理の実績についてお答えください。

総務課長 指定管理制度と業務委託の大きな違いは、指定管理では「管理者が施設の管理の権限を有する」「施設の使用許可を与える」「施設の使用料金を収入を管理者自らの収入とすることができる」などが業務委託との大きな違いです。

指定管理の実績は、花園グリーンパーク、志賀ふれあい会館、妙寺・丁ノ町保育所です。

志賀ふれあい会館の指定管理が取り消されて9カ月が経過しています。現在どのような状況ですか。

問

産業観光課長 ふれあい会館は宿泊研修施設となっています。目的に合った指定管理者の募集を6月末から開始する計画をしています。

問 管理者を決定し、ふれあい会館の営業をいつからスタートするのですか。

産業観光課長 早ければ9月会議に提案したいと考えています。

企画公室長 取得から10年以上経過した施設については、補助目的を一定達成したものとみなし、財産処分承認に当たっては報告を持って承認とみなす制度ができています。ただ転用ができるかは所管する国・県に事例ごとに協議する必要があります。



ふれあい会館 (志賀)

問 宿泊研修施設であるために違う用途での利用の要望があっても対応できないとのことですが、施設の利用目的を変更すれば可能であると思えますが。

企画公室長 取得から10年以上経過した施設については、補助目的を一定達成したものとみなし、財産処分承認に当たっては報告を持って承認とみなす制度ができています。ただ転用ができるかは所管する国・県に事例ごとに協議する必要があります。

問 使用目的の変更も考慮しながら、施設の有効利用を図ることが必要です。できるだけ早い対応をし結果を地域の方々に説明してください。

町長 この施設は志賀と周辺地域の活性化を目的に設置されています。目的を達成するため、指定管理者を一刻も早く決定し、再開したいというのが切なる思いです。

町長 ふれあい会館は、高野山への道路沿いにあり多くの利用が期待できます。高野山開創1200年祭や和歌山国体も控えています。指定管理をどう進めていくのですか。

町長 指定管理の途中で指定が取り消されたり、新たに管理者を募集しても応募がないことになれば、その施設は当分の間は何も利用されずに放置されることとなります。そのような事態にはどう対応するのですか。

花園地域振興課長 指定管理には2社の応募がありました。宿泊料の内容や地域住民サービスなど再度提案を求め、提案書が出てきたところでプレゼンテーションの日程を調整中です。

問 指定管理者が決定するのはいつですか。

花園地域振興課長 6月末に決定できればと思っています。

町長 指定管理による運営が協定書のとおりに行われているか、確認と監視をどのように行うのですか。

総務課長 毎年協定書に基づき報告書の提出を求め、内容については、その都度詳細に見ていくこととなります。

町長 今はそのような状況ではありません。よろしくお願いします。

委員会活動報告

総務産業常任委員会

6月4日委員会を開催し、国道480号鍋谷峠道路の現地調査を行いました。

鍋谷峠道路

(国土交通省施工)

かつらぎ町平地内から和泉市父鬼町^{ちちおに}内をつなぐ延長4100mの道路で、この内トンネルは3697mです。5月23日現在1540m掘削されて、かつらぎ町側からは、あと960m掘削される予定となっています。残りの1197mは大阪側からの掘削となりますが、現在の状況はトンネル工事に着手するための工事用仮設道路建設に取り掛かったところです。今年度に工事用進入路を完成させてトンネル掘削工事を開始し、平成27年度中の完成を予定しています。



府県間トンネル（大阪側）の説明

父鬼バイパス（大阪府施工）

国道170号（外環）和泉市大野町内から和泉市父鬼町までの延長4500mで、3月末現在約3200mが完成し残りは約1300mとなっています。現在橋梁工事に着手しているところです。一部用地取得が完了していない区間もありますが、平成27年度中に完成を予定しています。

一刻も早く鍋谷峠トンネルの完成と合わせて父鬼バイパスが完成することを願うものです。

厚生文教常任委員会

6月5日委員会を開催しました。

平成26年第1回定例会6月会議で付託された陳情第1号「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情」及び陳情第2号「社会保障制度改革に関する陳情書」について審査を行いました。

陳情第1号

「現行の医療費助成は一定の抗ウイルス療法に限定されており、医療費助成の対象から外れる患者が相当数にのぼる」「肝硬変、肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく就労も困難である」などの意見が出され、採決を諮ったところ出席委員全員が採択すべきと決し、本会議に意見書(案)を提出することにしました。

陳情第2号

「退職公務員の生活は年金の厚生年金制度への統合や物価の上昇、消費税の増税などにより苦しくなってきた」「公務員は職務の多様化などで勤務条件が厳しくなってきた」「公務員のみならず、国民誰もが安心して暮らせる社会を構築する必要がある」などの意見が出され、採決を諮ったところ出席委員全員が採択すべきと決し、本会議に意見書(案)を提出することにしました。

継続審査となっていた「中飯降児童館の改築に関する陳情書」について審査を行いました。町の計画では古い施設から改築していくとのことであり、「他の施設も調査する必要がある」との意見が出され継続審査となりました。

委員会 活動報告

議会活性化特別委員会

本委員会では、設置目的である議会基本条例の制定に向けて、全国で初めて議会基本条例を制定した北海道・栗山町の議会基本条例について学習しました。

委員長を講師に、①議会改革を進めた背景②議会基本条例の定義③基本条例の特徴④基本条例の構成などについて説明を受け、その後フリー討論を行いました。

討論では、栗山町の基本条例の「前文」の「議会は多人数による合議制の機関として、また町長は独任制の機関として…町長の意見を町政に的確に反映させるために競い合い、協力し合いながら、最良の意思決定を導く共通の使命が課せられている」という二元代表制の本来の役割が指摘されていることに注目が集まりました。

新採研修で議会を傍聴

新規採用職員研修の一環として、平成26年6月13日の議会を傍聴しました。

我々役場の職員の仕事が議会にかけられる様子を見て、日ごろの業務の重要さを改めて感じるとともに、住民の皆様は認めて頂けるような仕事をしなければいけないと再認識した。また、議員の方がかつらぎ町の今後のあり方について熱く語ってあられる様子を見て、議員の方も我々職員も形は違っても同じようにこの町を良くしようとしているのだと感じた。私も個人としてまた行政の立場としてかつらぎ町のために貢献していきたいと思った。

今回初めて議会を傍聴させていただきましたが、想像していた以上に熱い議論が行われていました。様々な事業がどのように議会で取り上げられ、承認されていくのかという過程がよく分かりました。特に自分が実際関わった業務が議題に上がり、自分の業務もその一部であることを改めて実感しました。また住民の皆様が安心して暮らせるよう意見書の提出等もあり、議会の重要性を知ることができました。

議会傍聴により、条例制定などの内訳や金額はどのような根拠があるのか、決定に至るまでの経過など、議案書に記載されていない内容を議員と職員が熱く質疑応答し明らかにしていく場であると実感しました。そのため職員は常に根拠となる情報を踏まえる必要があります。そして、職員との信頼の下、町長をはじめ各課長が的確な回答をしていくことは最終的に住民の信頼や安心感につながると思えました。

初めて議会を傍聴した。普段一住民としては議員さんの存在は近くなかった。どのような活動をされているのか全く想像がつかなかったためである。今回傍聴させていただくことで、議員の皆さんは住民を代表し、住民の誰もが理解できるように、疑問を残さないように質問をされていると思った。自分の住む地域でも議員さんと話をして関わっていきたいと思う。職員としては町の事業を理解できるように努力が必要と痛感した。

提案された議案を審議して質疑するまでの間に、相
当な時間を要することを目の当たりにすることができ
ました。質疑の際、何かしらの根拠を持っているので
あるから答える側も相当、知識を持っておかなければ
いけないことを再認識しました。今後、自分が仕事を
していく中で根拠をもって対応できるように努力をし
ていきたいです。

議会には常に緊張感があり、議員と町職員との間で
熱心に質疑応答がなされていたのが印象的だった。今
年度の一般会計補正予算の議案については特に多くの
追及がなされ、議員の方々の町政監視への真剣さが感
じられた。議会傍聴を通して、かつらぎ町の政策決定
に関わる議論がどのように取り扱われているか知るこ
とができたこと、議員の方の発言から地域住民の感覚
の一端に触れられたことが特に良かったと思う。

議会を傍聴させていただき、現在、かつらぎ町でこ
のような事業がなされており、また、それに伴ってど
のような課題が生じているかについて理解を深める事
が出来たように思います。議会では色々な議案につい
て討論されていましたが、全ての課題は人口の減少に
起因しているのだと感じられました。今後、何が問題
解決に繋がるか考慮しながら生活及び業務を行い、提
案等していかなくてはならないと考えています。

退任のあいさつ



藤井昭雄



堀龍雄

退任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

私も、町民の皆様方の温かいご支援をいただき、町
議会議員という要職に就かせていただきました。

この間、町民の幸せを願い、豊かで住みよいふるさとづ
くりを目指して頑張ってきたつもりです。

幸い、皆様方の力強いご支援とご指導のお陰をもちまし
て、それぞれの立場において大過なくその職責を全うする
ことができました。

これもひとえに、皆様方から頂戴いたしました温かいご
厚情の賜と、心から感謝を申し上げます次第です。

今後は、町民の一人として過ごすこととなりますが、変
わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶
とさせていただきます。

表彰

《自治功労表彰》

和歌山県町村議会議長会
第66回定期総会において、
堀龍雄議員並びに赤阪岩男
議員が議会議員11年以上の
地方自治功労者として、和
歌山県町村議会議長会から
表彰されました。6月2日、
本町議場において伝達が行
われました。



任期満了に伴う記念撮影（平成26年6月2日）

編集後記

2年間を振り返って

7月にかつらぎ町議会議員選挙が行われ、この議会だよりが届く頃には新議員も決まり、議会が新体制になっているかと思えます。議会広報編集特別委員会委員長を務めさせていただき2年が経ちました。長いようで短く感じていきます。町民の皆様方に町議会の活動をご理解いただくために、分かりやすく関心を持って読んでいただける議会だよりを発行するため委員一同、試行錯誤を重ねてまいりました。

今回がこのメンバーで編集を行う最後の議会だよりになります。毎回お読みいただき本当にありがとうございました。暑い夏です。皆様、くれぐれもご自愛くださいますように。

委員長 氏 岡 誠



議会広報編集特別委員会

委員長	氏 岡	誠
副委員長	氏 東	弘
委員	氏 赤	岩
〃	氏 新	行
〃	氏 西	善
〃	氏 雑	増
議長	氏 堀	龍